公の施設「名張市総合福祉センターふれあい」の管理の方針について

1. 施設名称

施設名	名張市総合福祉センターふれあい
所在地	名張市丸之内79番地

2. 所管部署

施設の設置目的 事業等の概要	<p><施設の設置目的></p> <p>名張市における社会福祉事業を総合的に推進し、高齢者の生きがいづくり、子ども・若者の居場所づくり等の事業の実施によって多世代の交流を図り、市民福祉の向上を図るために設置</p> <p><事業等の概要></p> <p>○総合福祉センターの利用に関する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の許可・取消、利用の制限その他に関する業務 ・施設利用料金の徴収・返還その他利用料金に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設の電気料金・水道料金及びガス料金の徴収・支払いに関する業務 ・電気の保安その他施設の安全対策に関する業務 ・災害時における避難場所の提供及び災害対策への協力 ・施設を活用した社会福祉の増進に寄与する事業の実施 <p>○保健及び福祉等の関係機関との連携を図る事業</p> <p>○高齢者の生きがいづくり及び介護予防に関する事業</p> <p>○子ども・若者の居場所づくり及び健全育成に関する事業</p> <p>○地域住民の世代間交流事業</p>
所管部署	福祉子ども部 医療福祉総務室

3. 現在の管理状況

指定管理者名	社会福祉法人 名張市社会福祉協議会
--------	-------------------

指定管理期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
--------	--------------------

4. 令和8年度以降の管理の方針

名張市総合福祉センターふれあい（以下「総合福祉センター」といいます。）は、社会福祉事業の総合的な推進や市民福祉の増進を目的に施設活用を進めてきました。社会情勢や地域のニーズ等を踏まえ、時代に合ったサービスの提供が求められる中で、高齢者の心身の健康と生きがいの増進、介護予防等の場として提供してきた名張市老人福祉センター「ふれあい」（以下「老人福祉センター」といいます。）については、役割や取組等を継承しつつも、子どもから高齢者までの市民のふれあいの場として整備を行い、令和7年度からは老人福祉センターを総合福祉センターに統合・一元化しました。

指定管理の期間については、令和6年度は施設の総合的な在り方等の検討のため、また、令和7年度は令和8年度からのユースプレイスの設置に係る施設改修等の移行期間であることを理由に、指定管理実施期間をそれぞれ1年間と定めて管理していただきました。

令和7年度中にユースプレイスの本格運用の開始に向けて条例、要綱等の整備を行い、複数年で運営を行っていただくための体制ができる見込みであることから、指定管理期間を令和8年度からの3年間と定めて担っていただくこととします。

なお、ユースプレイスの本格運用に当たり、生きがい交流スペースの利用時間や利用対象者など、利用形態の変更を予定していることから、高齢者等の現行の利用を継続しつつ、新たな利用者に配慮した施設運営が求められます。

5. 指定管理の実施時期

実施時期	令和8年4月1日～令和11年3月31日（3年間）
------	--------------------------

6. 特記事項

非公募による指定管理者候補者の選定

社会福祉法人名張市社会福祉協議会を指定管理者候補者とします。

（理由）

名張市社会福祉協議会は、本市の地域福祉の推進を図ることを目的として設置された団体であり、本施設を拠点とする社会福祉法人連絡会や老人クラブ連合会等の事務局を担うなど、福祉団体の活動支援等も行っており、本市と連携しながら地域共生社会の実現に向けた事業を実施しています。

本施設は本市の総合的な福祉の拠点であり、地域福祉推進の中核を担う同会が管理運営を行うことで、その役割の発揮と施設の有効活用の相乗効果が見込まれます。また、

指定管理業務を行うに当たっては、本施設内に事務所を有する同会の職員が指定管理における管理業務担当者を兼務する形で配置されており、指定管理における人件費支出額がその分低く抑えられています。

同会は、開設当時より総合福祉センター、老人福祉センター両施設の管理委託を受託し、平成18年度からは指定管理者として施設管理や事業運営を行うなど、相応の実績と経験を有することなどを鑑み、名張市社会福祉協議会に引き続き本施設の指定管理を担っていただくことが適切と考えます。

また、令和8年度から本格運用予定のユースプレイスは、3階の生きがい交流スペースの一部において市直営事業として実施することを予定しています。指定管理業務として行われる高齢者の生きがい事業と場を共有しながら運営を行うことから、同施設の管理運営を熟知した同会と綿密な連携を図りながら事業を進めていくことが必須であると考えています。

公の施設「名張市総合福祉センターふれあい」の指定管理者制度活用に係る検討内容

(部室名) 福祉子ども部医療福祉総務室

1. 指定管理者制度の有効活用の検討

(1) 施設概要、現在の運営状況

ア. 所在地：〒518-0718 三重県名張市丸之内79番地

イ. 施設の設置目的

本施設は、本市における社会福祉事業を総合的に推進し、市民福祉の増進を図るために設置しています。

ウ. 施設の内容

敷地面積：6,672.89㎡

建設：平成8年3月竣工

構造：鉄筋コンクリート造り

規模：地上3階建

延床面積：5,436.62㎡

建築面積：2,398.67㎡

設備及び事業の概要：

	現在	令和8年度以降
1階	大会議室 (300㎡) 会議室1 (69㎡)・会議室2 (69㎡) デイサービスセンター ハローワークプラザ 障害者人材センター	現状どおり活用 (貸館利用等を継続)
2階	会議室1 (90㎡)・会議室2 (34㎡) 展示ホール (95㎡) おもちゃ図書館 (49㎡) ボランティアルーム (49㎡) 福祉団体事務室 (47㎡) 社会福祉協議会事務室 社会福祉協議会事業所	現状どおり活用 (貸館利用等を継続)

	シルバー人材センター 家庭児童相談室	福祉活動団体事務室
3階 (注)	視聴覚室 (45 m ²) 茶室 (和室・45 m ²) 調理実習室 (48 m ²) 教養娯楽室+舞台 (和室・170+43 m ²) 図書室 (50 m ²) 健康指導室 (49 m ² ×2 部屋 可動間仕切り) 介護予防演習室 (48 m ²) 運動機能訓練室 (138 m ²) 管理事務室 (27 m ²)	・高齢者の生きがいづくり及び介護予防に関する事業 (継続) ・多世代交流事業 (継続) ・ユースプレイスの設置 (新規) 相談室、事務室、図書室、学習室、遊戯室
駐車場	80台	現状どおり活用

注) 現在、ユースプレイスの整備に向けた設計を実施しており、今後、面積及び呼称については変更する場合があります。

エ. 現在の運営状況

平成8年3月の開設当時より名張市社会福祉協議会に施設の管理運営業務を委託し、平成18年度からは指定管理者制度の導入により、総合福祉センター、老人福祉センターの2施設の運営を進めてきました。

指定管理制度導入時は3年の指定管理期間とし、以降は5年ごとに指定管理期間を更新してきましたが、令和5年度から両施設の在り方の見直しを進める中で、令和6年度及び令和7年度は見直し検討・移行期間として指定管理期間を1年ずつとして運営しています。

(2) 施設設置に関連する法律・条例等

- ・名張市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
- ・名張市総合福祉センターの設置及び管理に関する条例施行規則

(3) 他市の類似施設の事例

ア. 伊賀市

伊賀市総合福祉会館：

令和5年4月～令和10年3月 指定管理制度（非公募）で運営

（社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会）

イ. ア以外の市

松阪市飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンター：

2. 指定管理者制度の活用により期待できる効果等

（1）施設の効果的・効率的な管理運営が図られているか

本施設は本市の総合的な福祉の拠点であり、地域福祉推進の中核を担う名張市社会福祉協議会が管理運営を行うことにより、保健及び福祉等の関係機関との連携など、その役割の発揮と施設の有効活用の相乗効果が見込まれます。

（2）市民サービスの向上が図られているか

利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズを把握し、必要な事業運営の見直しにつなげるなど、施設の利用者に対するサービスの向上に取り組んでいます。

また、施設の利用を通じた福祉関係団体やボランティアセンター登録団体等の活動支援や、専門職による高齢者等への相談支援など、総合的な福祉の拠点施設としてのサービス提供を進めています。

（3）経費抑制等の効果が図られているか

本施設内に事務所を有する名張市社会福祉協議会の職員が指定管理における管理業務担当者を兼務する形で配置されており、指定管理における人件費支出額がその分低く抑えられています。

（4）予算措置の考え方（利用料金制、指定管理料、財源等）

指定管理者が行う業務の範囲や内容、管理業務やサービス等に対する要求水準を基に、あらかじめ管理に必要と考えられる経費総額を積算するとともに、「利用料金収入」等を勘案し予算措置をします。

指定管理業務を市が示した水準どおりに確実に実施する中で、利用料金収入や事業収入の増加、経費の節減など、指定管理者の経営努力により生み出された剰余金については、原則として精算による返還を求めないこととします。

ただし、老朽化等に起因する修繕や部品の交換等（以下「修繕等」といいます。）は、指定管理者が実施することとしますが、年間の修繕等の累計額が200万円を超える場合には本市の負担で実施します。指定管理者の年間の修繕等の累計額が200万円に達しない場合については、その差額は本市に返還することとします。

施設の管理運営業務に係る収支状況

施設名 名張市総合福祉センターふれあい

(単位：千円)

区分	項目	R7 予算額	R8 (財政経営室 協議済み額)	備考	
収入	市受託金	68,000	71,190	指定管理料	
	参加費	152	152	事業参加費	
	利用料	4,139	5,065	貸室、コピー、駐車場 3階利用料	
	賃貸料	1,327	1,643	光熱水費・清掃・自販機電気代負担分	
	雑収入	0	15		
	収入合計	73,618	78,065		
支出	人件費	22,192	24,487	職員人件費	
	事業費	47,636	50,000	光熱水費 業務委託費（清掃、施設 管理等） 施設修繕費 等	
	事務費	3,248	3,248	租税公課等	
	器具及び備品取得	0	100		
	負担金等	542	230	法人税、住民税及び事業税支出 等	
	支出合計	73,618	78,065		
	収支	0	0		